HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	旭川におけるヘリテージトレイル作成へ向けての試案
Author(s)	中井, 貴規
Citation	先住民文化遺産とツーリズム : 北海道の可能性(International Symposium: Indigenous Heritage and Tourism – Potential in Hokkaido). 2012年10月13日-14日. 北海道大学学術交流会館小講堂 , 札幌市.
Issue Date	2012-10-14
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/51253
Type	conference presentation
Note	セッション2: ヘリテージツーリズムの取組み
File Information	session2report3.pdf

Instructions for use

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

北海道大学
サステナビリティ・ウィーク
Hokkaido University Sustainability Weeks

2012 年 10 月 14 日

International symposium 2012　Indigenous Cultural Heritage and Tourism

国際シンポジウム

先住民文化遺産とツーリズム
–北海道の可能性–

『旭川におけるヘリテージトレイル作成へ向けての試案』

中井　貴規
（北海道大学アイヌ・先住民研究センター　技術補佐員）

旭川における
ヘリテージトレイル作成へ向けての試案

中井貴規
（アイヌ・先住民研究センター 技術補佐員）

報告者について

- 1977年旭川市に生まれる。
- 幼い頃、母・祖母が川村カ子トアイヌ記念館で民芸品を売ったり、踊ったりしていた。
- 1984年、旭川市立近文小学校に入学。
- 1990年、旭川市立北門中学校に入学。
- 高校、大学、いくつかの職を経て、現在に至る。チーム ニカオㇷ゚(nikaop)に所属して、アイヌ文化の知識、芸能を学んでいる。

- 「親のこと、祖先のこと、自分の生まれ育った土地のことをまずは知りたい」
- 「実際に歩きつつ、親やいろんな方々から話を聞けるとありがたい」

出典：Yahoo地図

報告者が生まれ育った場所には、
アイヌ文化に関係する場所が多かった。
※中井の保育園期、小学校期、中学校期

・川村カ子トアイヌ記念館
・近文小学校
・北門中学校
・生活館　　・・・などなど

「親のこと、祖先のこと、自分の生まれ育った土地のことをまずは知りたい。」

現在考えているコース

案:
旭川駅からバスで移動
↓
1.川村カ子トアイヌ記念館（保）
2.旭川市立北門中学校内　郷土資料室（中）
3.旭川市民生活館
4.近文小学校（小）の看板

出典：旭川市教育委員会 社会教育部文化振興課文化振興係　発行
『旭川アイヌ文化情報マップ』

1. 川村カ子トアイヌ記念館

旭川市北門町１１丁目

出典：© Mapion地図データ　©ZENRIN

記念館－北門中学校の間にて ～川上記念館？のこと

出典：© Mapion地図データ　©ZENRIN

2. 北門中学校　知里幸恵文学碑

旭川市錦町15丁目　北門中学校校庭内

3. 市民生活館

旭川市緑町15丁目

中井提案コースについて
反省点などの話し合い（市民生活館）

- ヘリテージWGメンバーからの意見、中井の感想
  その他いろいろを含む。

仮に一般客と歩く場合・・・

コースの順番の再設定

生活館をスタートにしてみる。
ゴールを川村カ子トアイヌ記念館にしてみる。

地図は必須

“仕込み”

昔の歴史を感じさせる写真をその場で見せる、唄や音声を聞けるようにするといった工夫（当時の雰囲気を味わえるもの）があるともっと良かった。

4. 近文小学校

コース中の各資源を見学することはもちろん大事。

年配の方と実際に歩きながら当時の周辺の様子などを聞くことも大事。

最後に　～課題～

- 私個人の経験をもとにしたコースの良い点や悪い点。
- 今回母から聞いたことは、何より息子である報告者自身が、昔の様子を記している本・新聞記事などで、少しずつでも調べたり考えたりしなければならない。

ありがとうございました。

※特に出典記載のない写真は報告者撮影。